



普光寺の臥龍梅 撮影:執行稔夫医師(代謝科)

## ストップ！医療改悪

### 国が減びるは大ウソ

スウェーデンでは、医療費の負担は、薬代を含めて年間約2万7千円が上限で、それ以外の医療・介護の負担はないそうです。

さらに、介護サービスでは「最低残留額」という制度があり、手元にお金を残すことができます。その額は、在宅だと夫婦で1ヶ月に約8万円、単身で4万5千円、施設入所では2万円強で、お金がないから、とサービスを減らす必要はないそうです。「スウェーデンは税金が高いから」とよく言われます。租税負担率は、日本28.8%に対して、スウェーデンは51.6%と高いです。しかし、福祉や教育の面で国民に戻されている分を考えると、逆の関係です。修正国民純負担率で見ると、スウェーデンは11.9%で、日本は16.0%です。

実は日本の負担率のほうが高いのです。政府・与党は、06年度からの医療費の引き上げをもくろんでいます。

70歳以上の高齢者の自己負担を、現行の1割負担から2割負担とします（一定所得以上は2割↓3割）。長期入院では、食費を全額自己負担とし、新たに居住費を徴収しようとしています。食費・居住費だけで月に3万2千円の負担増です。

さらに、75歳以上の高齢者には新たな保険制度をつくり、全員加入を義務付け、年金から保険料を天引きしようとしています。介護保険料を合わせる、毎月1万円が天引きされます。

「このままでは、医療費で国が減びるから」といいますが「大ウソ」です。米国からいわれるがままに「ムダな公共事業」をやってきたツケです。「ストップ・医療改悪！」

# 2006年診療報酬 改定の中身とは……



「郵政選挙」での圧勝で勢いづいた小泉政権が、高齢者や医療機関に一挙に襲いかかろうとしています。「医療費の適正化」という名のもとに、高齢者をねらい打ちにした大幅な負担増や、国から医療機関に支払われる診療報酬の過去最大の引き下げを強行しようとしています。

その中身を見ていくと、まず昨年10月から70歳以上の現役並み所得者の負担割合を2割から3割へ引き上げる。療養病床に入院している70歳以上の患者さんから「必要に応じて」食費・居住費を徴収する。2008年度から70〜74歳についても現行の1割から原則2割にする。療養病床に入院している65〜69歳の患者さんからも「必要に応じて」食費・居住費を徴収する。など患者さんに負担を強いられるのばかりです。次に医療機関は、病状が少し安定したが入院の必

要がある慢性期入院に対して評価を大幅に引き下げ、治療密度の高い急性期入院に対しては入院している日数を短縮するといった中身になっています。一方、在宅での治療は評価を高くしています。

要するに「病院にいと医療費が高くなるので、できるだけ早く病院から出て在宅で治療をして下さい」と言わんばかりです。こうした高額な患者負担と強引な医療費抑制は、国民の医療を受ける権利、そして生命を脅かすもので断じて許すことはできません。

「いつでも、どこでも、だれもが安心して受けられる良い医療と福祉の実現」が私たちの願いです。国会での徹底した審議を要望するとともに、医療現場の要望や医療を受ける国民の声を大きな運動にして、医療改善をすすめましょう。

## 医療・看護の改善をめざして、看護に「輝き」を

今、看護の現場では目の回るような忙しさで、看護師は疲れきっています。全国の医療機関

では職場を離れる人が後を絶たず、特に新人看護師1年目の退職は2004年で9.4%、実に十一人に一人が退職しています。看護師不足は深刻です。

アメリカでは、昼でも夜でも一人の看護師が五人の患者さんを見ています。日本では昼は十人、夜は二十人も患者さんを見ています。

日本は先進諸国の中で圧倒的に看護師が足りない状況です。安心でゆきとどいた国民の医療、看護を守るために看護師の増員は不可欠です。

労働を通して、患者さんにも及んでいます。

看護師が生き生きと働き続け、患者・利用者の皆さんが安心して安全な医療を受けることが出来るように、全国各地で「看護師を増やそう」の運動が始まったところで

す。福岡では2月19日に「看護改善大宣伝行動」を天神

で開催。九州各地の医療機関から550名を超える看護師が集いパレードを行いました。(写真)

現在米の山病院では、「看護師を増やそう」の運動と併せて「安心でゆきとどいた医療・介護のために」の署名に取り組んでいます。多くの方のご協力をよろしくお願いいたします。



政府の低医療費政策の矛盾が看護現場にも起こっています。その被害は、少ない人数の過酷な看護

米の山病院師長室

村上 眞由美

笑った  
わかった

## 「インフルエンザと咳エチケット」 全職種学習会

米の山病院では毎月第3(木)午後、全職種の学習や地域活動を行っています。1月はこのテーマで、北九州の病院から感染管理医師、山口征啓先生をお迎えし、講演会を開催しました。

米の山病院の職員以外にも地域の2病院5名、2施設9名、の方々もご参加下さり、皆さん大変熱心にメモを取られていました。

今回の学習会は、インフルエンザ流行の真只中の開催(1月19日)となり、大変大きな反響がありました。「インフルエンザ」には「飛沫感染予防」という言葉は知っていても、それをよく理解し、よく実行できている医療従業者はまだ多くないのが現状ではないのでしょうか?実際の現場では「このときはどうした



ら?」「ここはこれでいい?」など判断に迷う事ばかりです。学習会では「標準予防策」とは病院に出入りする全ての人たちが理解し、守っていかねければならないこと、「院内感染防止

とは地域の医療施設・介護施設がみんなを取り組んでいかなければならないことを自然に理解することができました。

また、新型インフルエンザの世界的流行の恐ろしさやタミフルの日本国内使用量が世界の8割を占めていることなど興味のないお話しでした。本当は難しい話をおもしろおかしく話されるので午後だと言うのに居眠りすることなく、笑って、ドキドキしたあつという間の1時間半でした。

## MRIの紹介

強い磁石が埋め込まれたトンネルの中に体を入れて、体の中からの信号を受け取って画像にできる検査です。例えば、脳のMRIでは、脳出血の原因となる、動脈瘤の存在の有無や脳硬塞の有無、めまいや頭痛の原因を調べる事ができます。年に一回は脳のMRI検査をしましょう!

腰や膝のMRIでは痛みの原因や場所を調べます。ほかにも全身どこでも調べることができます。

MRIで使用する磁気や電波は、無害で安全です。検査による痛みはなくレントゲンは使いませんので、X線被爆がありません。また患者さんは寝たまま、色々な角度から体の様子を調べることが出来ます。

ただし、体内に金属が入っている方は検査できないことがあります。詳しくは職員にお尋ねください。



最先端のテクノロジーを凝縮したMRI。患者さんの圧迫感や不安感を取り除く配慮がなされています。

## 医師紹介

◆整形外科研修医

高口 太平



はじめまして。整形外科研修医の高口太平と申します。

私、平成14年から米の山病院で内科初期研修を始め、1年ほど研修を行った後に北九州の大手町病院に移り、その間に整形外科を専門とすることにしました。その後、鹿児島宮崎民医連の鹿児島生協病院で整形外科初期研修として1年間、麻酔科研修を2ヶ月行い、また戻ってきました。

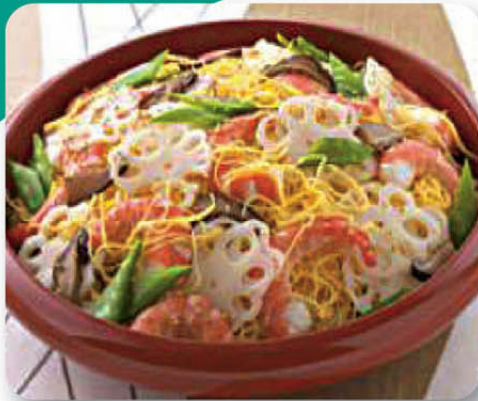
整形外科研修医として2年目で、医者としても4年目でまだまだ若輩者ですが、少しでも早く一人前の整形外科医になれるように頑張ります。

ご一緒できれば幸いです。



## 春のちらし寿司

《エネルギー：483kcal》



**材料** (4人分) ※季節に合わせた食材で菜の花などを彩りよく飾ってもいいですね。

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| ☆米 3カップ(1カップ=160g)     | ☆干しいたけ 6枚(1枚=3g)     |
| ☆昆布(5cm)               | (B) 砂糖 大さじ4          |
| (A) 酢 1/2カップ           | しょうゆ 大さじ3            |
| 砂糖 大さじ4                | ☆えび 12尾(1尾=20g)      |
| 塩 大さじ2/3               | ☆さやえんどう 20枚(1枚=2.5g) |
| ☆れんこん 200g             | ☆白ごま 大さじ1            |
| (1節大・中・小=300・200・150g) | ☆卵 3コ(1コ=50g)        |
| (C) 酢 2/3カップ           | (D) 塩 少々             |
| 水 1/2カップ               | 砂糖 大さじ2/3            |
| 砂糖 1/2カップ弱             | かたくり粉 小さじ1           |
| 塩 小さじ1                 | 水 大さじ1               |

### 作り方

- (1)米は炊く30分以上前に洗ってザルにあげ、同量の水、昆布を加えて普通に炊き、Aを加えてしゃもじでよく混ぜ、手早く冷ます。
- (2)干しいたけは水4カップにつけて戻し、汁ごと中火にかけ、煮立ったらあくを除いてBを加え、弱火で汁がなくなるまで煮る。
- (3)れんこんは皮をむいて薄い半月切りにして水にさらし、煮立てたCに加えてひと混ぜし、バットにあけて冷ます。

- (4)えびは殻付きのまま酒、塩各少々をふって少なめの熱湯でゆで、そのまま冷ます。殻をむき、(3)に加えて味をなじませる。
- (5)卵にDを加えて薄焼き卵を作り、千切りする。さやえんどうは塩ゆでにし、千切りにする。
- (6)(2)は薄切りにし、(4)のえびは汁をきって厚みを半分に切る。
- (7)(1)に(6)、汁気をきった(3)、白ごまを混ぜ、(5)をちらす。



## クイズ 頭の体操

下の単語には、ある共通点があります。それは何でしょう？

若様 山伏  
がま口 徳利  
秋刀魚 鯛  
青海苔

No.13(1月1日号)の答えは「赤色の帽子」でした。

—— 正解者 ——

院丸洋子様  
矢野孝子様  
江口正祐様

### 応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただく受付までお持ち下さい。FAX、メールでも可。  
〆切は2006年3月末日。正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。正解と当選者は次号に掲載します。

機関誌や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

## 大牟田高校吹奏楽部デイサービスで演奏

「さー！大牟田高校の吹奏楽部の演奏の始まりです。いっしょに聴きましょう！」当デイサービス開設当初から縁あって今回で7回目となり、クリスマスの時期にきていただきました。(12月25日)。毎年利用者の方も心待ちにされ、生演奏に感激の1日です。曲目は「津軽海峡冬景色」、「となりのトトロ」等、懐かしい、親しみのある曲が演奏されました。また利用者さんと一緒に「高校3年生」の合唱もしました。指導の川口先生の軽妙な司会進行で楽しいひとときを過ごしました。

